

市民参加

【目次】

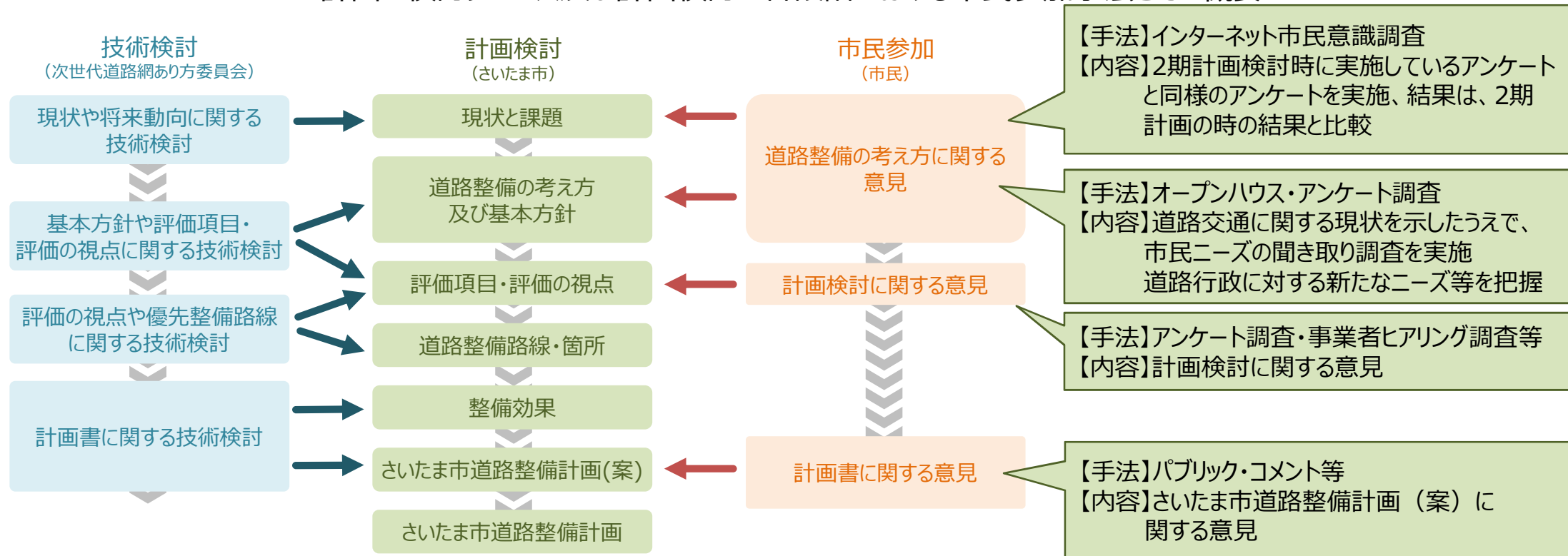
1. 市民参加プロセスと参加手法
2. オープンハウス実施概要
3. 意見整理結果

1. 市民参加プロセスと参加手法

市民参加プロセス及び参加手法

- 次期道路整備計画の検討においては、事務局が実施する計画検討、あり方委員会等の技術検討、市民参加、この3つのプロセスを並行して進める
- 3つの並行する計画プロセスを導入することで、市民の協力意向や行政への信頼度が上がり、計画の受け入れやすさを高めることができ、結果として、将来の事業化や用地取得の円滑化にもつながる
- また、道路行政のPRの観点からも、様々な手法を用いて、市民に対して情報を提供し、ニーズを把握する

計画の検討プロセス及び計画検討の各段階における市民参加手法とその概要



2. オープンハウス実施概要

オープンハウス実施概要

- 令和5年3月には市内4か所の会場で、令和5年5月には市内2か所の大学でオープンハウスを実施し、411件（市内会場：309件、大学：102件）の方にご意見をいただいた
- オープンハウス参加者の年齢構成をみると学生が12%、20～40歳代が17%、50～60歳代が26%、70歳以上が21%、不明が25%となっている。

種別	区・大学	日時	施設名	場所	意見数
鉄道駅	浦和区	令和5年3月1日（水）10時-15時	浦和駅	地下通路	73件
	岩槻区	令和5年3月2日（木）10時-15時	岩槻駅	改札口前	85件
	中央区	令和5年3月4日（土）10時-15時	さいたま新都心駅	自由通路	85件
公共施設	大宮区	令和5年3月8日（水）10時-15時	大宮図書館	1階 展示室	66件
大学	埼玉大学	令和5年5月19日（金）10時-15時	埼玉大学キャンパス内		55件
	芝浦工業大学	令和5年5月17日（水）10時-15時	芝浦工業大学キャンパス内		47件

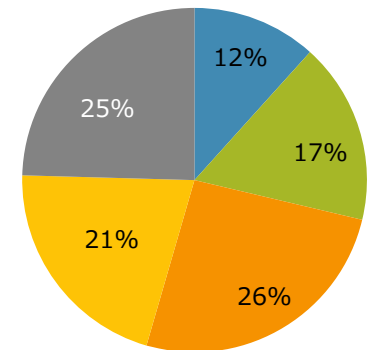
合計 411件



展示パネル



実施状況（埼玉大学）



■ 学生 ■ 20～40歳代 ■ 50～60歳代
■ 70歳以上 ■ 年齢無回答

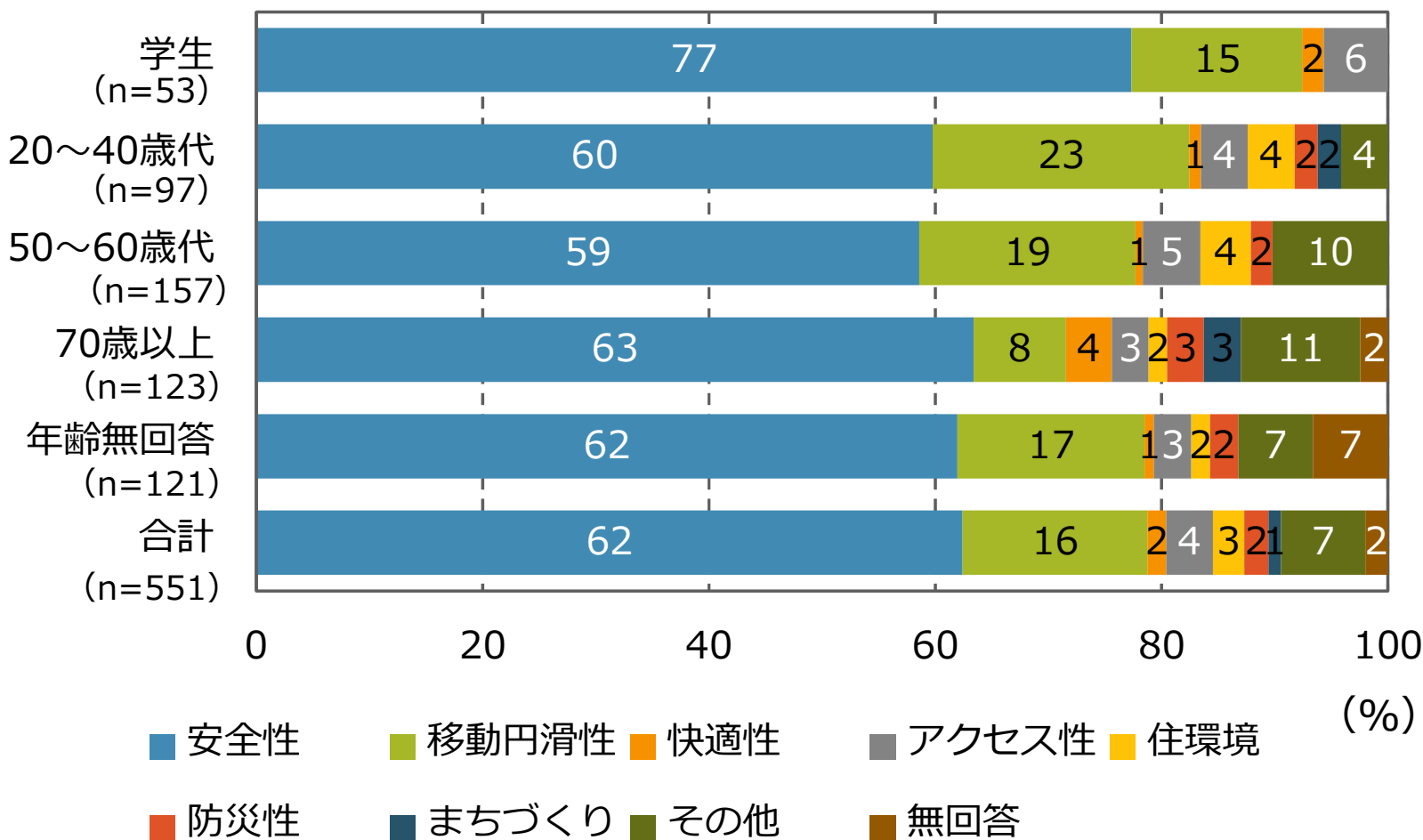
オープンハウス参加者の年齢構成 4

3. 意見整理結果

意見整理結果

- 本市の道路整備に求めていることとして、全体では6割強の方が「安全性」について期待していると回答している。
- 世代別にみると、学生は「安全性」について7割強の方が期待しており、どの世代と比較しても高い傾向がみられる。一方で、学生以外の方は、割合が少ない状況であるが、「住環境」「防災性」「まちづくり」などに期待している人がいる状況にある。

本市の道路整備に求めていること



項目	内容(意見例)
安全性	・安全な歩行空間で歩きたい ・幅員にゆとりある道路を通行したい等
移動円滑性	・渋滞を緩和しスムーズに移動したい ・公共交通の移動の円滑性を確保して欲しい等
快適性	・駐車・駐輪をしやすくして欲しい ・休憩したり・憩える場所が欲しい等
アクセシビリティ	・公共交通の利便性を向上して欲しい ・東西へのアクセスをよくして欲しい等
住環境	・景観に配慮して欲しい ・騒音、振動を軽減して欲しい等
防災性	・防災時に円滑に通行できるようにして欲しい ・救急車など緊急車両が通れるようにして欲しい等
まちづくり	・まちなかの活気・魅力が欲しい ・散歩したくなる道路が欲しい等
その他	・道路整備に関する説明を充実して欲しい ・道路整備を早く進めて欲しい等
無回答	無回答

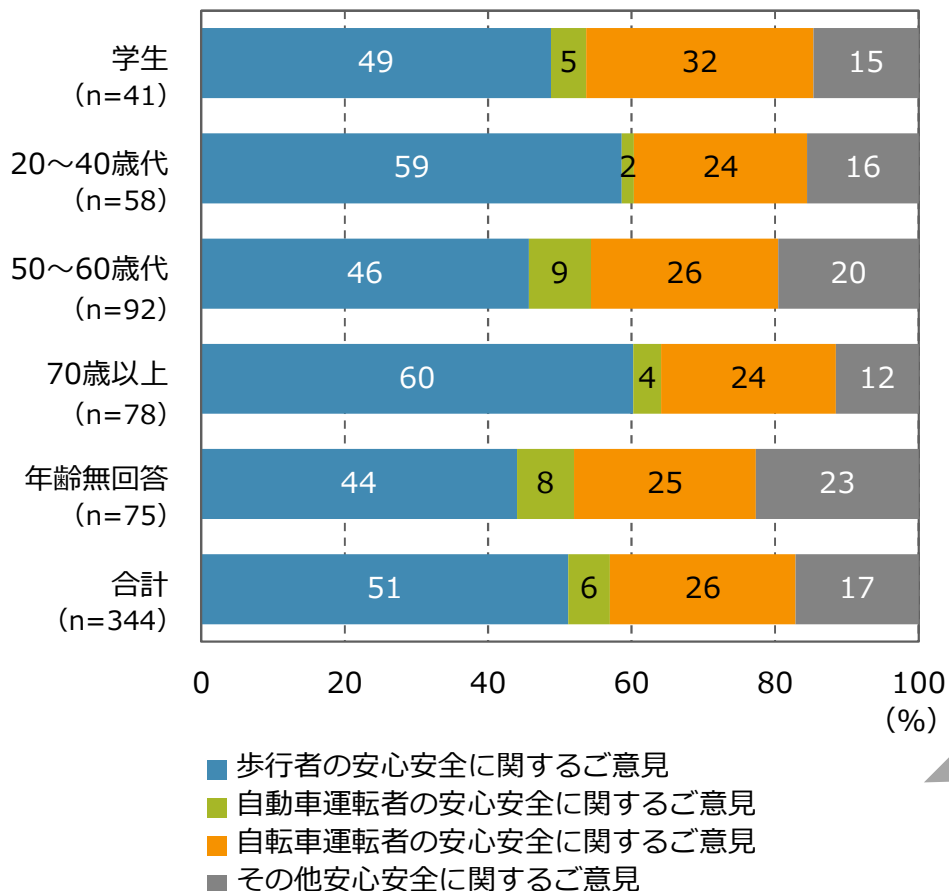
※学生は独立して集計しており、他の年代には含まれていない
同一人物から複数のご意見をいただいているため「n」と「意見数」は一致しない点に注意

意見整理結果

- 前頁で割合の高い結果となった「安全性」について詳細に把握するため小分類ごとに意見整理をした。
- 「安全性」では「歩行者の安心安全に関するご意見」がどの世代においても高い結果となった。
- 通学時に自転車を利用する機会が多い学生は、他の世代と比較して「自転車運転者の安心安全に関するご意見」の割合が高い結果となっている。

本市の道路整備に求めていること（安全性の内訳）

○安全性



安心安全は19の小分類があるため「歩行者視点」「自動車運転者視点」「自転車運転者視点」「その他」にとりまとめて整理した。

歩行者の安心安全に関するご意見

- 自動車や自転車に気を遣わずに安全に歩けるようにしてほしい
- 幅員にゆとりがあり、安全な歩行空間を歩きたい
- 子供や高齢者が安全に歩けるようにしてほしい
- 段差や凸凹などのない平滑な道を歩きたい
- 身体に不自由がある人やベビーカーでも安全に移動できるようにしてほしい
- 交差点や横断歩道を安全に歩けるようにしてほしい
- 生活道路を安全に歩けるようにしてほしい
- 夜間も安全に歩けるようにしてほしい
- その他の歩行安全性に関するニーズ

自動車運転者の安心安全に関するご意見

- 自転車や歩行者に気を遣わず安全に運転できるようにしてほしい
- 運転する際に幅員にゆとりのある道路を通行したい

自転車運転者の安心安全に関するご意見

- 専用レーンで安全な自転車走行空間を利用したい
- 自動車や歩行者に気を遣わずに安全に走れるようにしてほしい
- 幅員にゆとりのある道路を走行したい
- その他、自転車利用時の安全性に関するニーズ

その他安心安全に関するご意見

- ルールを守ってマナーを良くしてほしい
- 交通手段に関わらず安全に利用できるような道路がほしい
- 新しいモビリティに対応できるようにしてほしい
- その他

基本方針3の「自転車・歩行者との共存を図る道路整備」として、以下の視点を追加

- 自転車ユーザーが、安全かつ快適に移動できる道路整備
- 地区交通プラン推進エリアの推進に寄与する道路整備

※学生は独立して集計しており、他の年代には含まれていない
同一人物から複数のご意見をいただいているため「n」と「意見数」は一致しない点に注意